

## 調査設問一覧

※こちらは、回答を記入いただく設問票ではありません。

「WEB調査回答ガイド」をご確認いただき、WEBアンケートシステムからご回答ください。

### (ご回答者様について)

設問1：ご回答者様の職名について該当するものを選択してください。(必須回答)

- 1) 所長
- 2) 所長以外の職名(職名： )

### (貴児童相談所のおかれている状況について)

設問2：貴児童相談所の設置主体について該当するものを選択してください。(必須回答)

- 1) 都道府県
- 2) 指定都市・中核市・特別区

設問3：貴児童相談所の2019年度の児童虐待相談件数に該当するものをひとつ選択してください。

- 1) 100件未満
- 2) 100件以上1000件未満
- 3) 1000件以上

設問4：貴児童相談所において、児童福祉司や児童相談員、児童心理司など、社会調査や社会診断、児童や保護者への支援、関係機関との調整等の業務に直接従事している職員の人数を教えてください。(医師や弁護士、一時保護所の職員は含みません。)回答に際しては、児童相





- 2) 育成担当職員には相談しやすいが、それ以外の職員には相談しにくい環境にあると感じる
- 3) 育成担当職員にも、それ以外の職員にも相談しにくい環境にあると感じる。  
または、育成担当者を決めておらず、誰にも相談しにくい環境にあると感じる。

設問 10：職員の育成において最も課題となっていることは何ですか？

(自由記述： )

### **(一時保護の要否判断など緊急性の判断について)**

設問 11：通告を受けてから、緊急受理会議を行うまでの間に、どのような調査を行いますか？ 貴児童相談所において、一般的に行っている調査を全て選択してください。(必須回答)

(複数選択)

- 1) 通告情報の整理と事実確認を行い、確認が必要な事項を整理する
- 2) 児童相談所の相談歴を確認する
- 3) 市区町村に、住民票・移動歴・相談歴・検診歴について問い合わせる
- 4) 当該児童が所属する機関(学校等)があれば、その関係者に児童の様子について問い合わせる
- 5) 当該児童や家族を知るその他の関係機関(病院等)があれば照会を行う
- 6) その他(自由記述： )

設問 12：一時保護の要否判断など緊急性の高い状況下において、児童の安全確認についての情報を、どのような方法で現地と児童相談所で状況共有されることが多いですか？最も代表的な方法を選択してください。(必須回答) (複数選択)

- 1) 現地から電話で状況を伝えて、判断決定することが多い
- 2) 現地から電話だけではなく、メールやメッセージ( LINE や SNS など) も利用して情報共有して判断決定することが多い











専用ソフトによる業務システムなどを指します。エクセルなどの一般的なソフト等を用いて管理している場合を除きます。) (必須回答)

- 1) 業務システムを利用している
- 2) 業務システムを利用していないが、一般的なソフトを使って、組織としてデータ管理している(エクセルなど)
- 3) 業務システムを利用しておらず、手書き文書や文書作成ソフトで作成された文書をファイルに閉じて管理している

設問24：(設問23において選択肢1を選んだ場合のみ回答する設問) 児童相談業務で取り扱う情報を、A「児童についての基本情報」、B「ケース経過記録」、C「写真等その他の記録」の3つに区分したとき、それぞれの情報はどの程度業務システムに保存されていますか? 最も近いものを選択してください。(必須回答)

#### A「児童についての基本情報」について

- 1) 詳細情報までほとんどすべての情報を業務システムに入力保存している
- 2) 基本的には業務システムに入力保存しているが、詳細情報については、紙やWordファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 3) 一部の情報のみ業務システムに入力保存しており、ほとんどの情報は、紙やWordファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 4) 業務システムには児童の氏名・生年月日程度しか入力されておらず、その他の情報は入力保存されていない。
- 5) 業務システムに一定の情報入力項目は設定されているが、どの程度の情報を入力するかは担当者によって異なっており、業務システムにどの程度入力保存されているかバラつきがある。

#### B「ケース経過記録」について

- 1) 詳細情報までほとんどすべての情報を業務システムに入力保存している
- 2) 基本的には業務システムに入力保存しているが、詳細情報については、紙や Word ファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 3) 一部の情報のみ業務システムに入力保存しており、ほとんどの情報は、紙や Word ファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 4) 業務システムに入力保存されていない。
- 5) 業務システムにどの程度の情報を入力するかは担当者によって異なっており、業務システムにどの程度入力保存されているかバラつきがある。

#### C「写真等その他の記録」について

- 1) 詳細情報までほとんどすべての情報を業務システムに入力保存している
- 2) 基本的には業務システムに入力保存しているが、詳細情報については、紙や Word、その他の画像ファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 3) 一部の情報のみ業務システムに入力保存しており、ほとんどの情報は、紙や Word、その他の画像ファイルなどで保存しており、業務システムに入力保存されていない。
- 4) 業務システムに入力保存されていない。
- 5) 業務システムにどの程度の情報を入力するかは担当者によって異なっており、業務システムにどの程度入力保存されているかバラつきがある。

設問 25：（設問 23 において選択肢 1 を選んだ場合のみ回答する設問）データを利活用する際には、児童や家族に関する基本情報や対応内容についての情報が、それぞれの項目としてデータ保存されているほうが使いやすいとされています。（例：自由記述のテキスト情報で「一時保護を行った」と記載されるよりも、「一時保護の有無」という項目に「有」というデータが入力される状態のほうが、データ活用が進めやすい）現在、利用している業務システム







